



公明党府議会議員団 副団長
八重樫 善幸

二酸化炭素排出ゼロ

2050年カーボンニュートラルの実現へ 2021年12月都市住宅常任委員会での質疑から

港湾の脱炭素化に向けた カーボンニュートラルポート(CNP)形成へ!

◎ 港湾の脱炭素化については、国土交通省が、港湾エリアでの脱炭素化に向けた「カーボンニュートラルポート(CNP)」の取組みを全国的に展開している。府は、CNP形成に向けて、具体的にどう進めていくのか。

◎ 港湾は、二酸化炭素排出量の約6割を占める発電所、製鉄、化学工業等の多くが立地する産業拠点であり、CNP形成に取組むことは重要と認識。

◎ 国土交通省では、CNP形成に向けた計画策定のため「マニュアル(初版)」の作成を、年内を目処に行う予定。

◎ 対策例として、「停泊中船舶への陸上電力供給」、「水素、アンモニア等の次世代エネルギーの活用」などを挙げている。

◎ 大阪港湾局として、港湾管理者と関係する民間事業者等が参画する協議会を、年度内に設立し、国土交通省の支援制度を積極的に活用するなど、速やかに取り組んでいく。



脱炭素への先進設備を視察



日立造船(株)築港工場では再生可能エネルギーの余剰電力をガス資源に転換・保存する「パワーツーガス(PtG)」の実用化のため、電気と水から水素を発生させる「固体高分子型水電解装置」を開発。さらに、その水素とCO₂を反応させて都市ガスの主成分であるメタンにする技術「メタネーション」の実証設備も視察しました。



LINEで道路の不具合等を通報するシステムを構築へ!!

◎ 現在、大阪府では、道路の不具合情報を簡単に通報できる、LINEを活用した「大阪府道路情報システム」の施行運転に取り組んでおり、利用者を対象としたアンケート調査も実施している。このシステムの試行運用の状況と、今後の本格導入に向けた取組はどうか。

◎ LINEを活用した通報システムは、7月21日から施行運用を開始し、現時点で約6000人の方が登録。これまでに通報約1,360件のうち、大阪府宛は約260件、国・市町村等が約750件で、残る約340件は、判別不能な通報。

◎ 利用者へのアンケート調査は、約270人から回答があり、約9割の方から「使いやすいシステムである」との回答があった。

◎ 令和4年2月からの本格導入に向け、河川と公園施設も通報対象に加え取り組んでいく。

◎ 通報のあった不具合箇所について、府がどう対応しているのかの対応状況を公表すべき。

◎ 通報日時と不具合箇所、その後の対応状況などの内容について、月毎の実績を本府ホームページで順次更新していく。また、試行運用でいただいた通報についても、年内には公表できるよう取り組んでいく。

やえがし善幸 公式ホームページ

<https://www.yaegashi-y.jp>



■八重樫 善幸・プロフィール

大阪府議会議員4期。
公明党大阪府議会議員団 副団長。都市住宅常任委員会 委員。大阪府議会日口友好親善議員連盟 副会長。大阪府私立幼稚園振興議員連盟 副会長。大阪日口協会 理事。関西宮澤賢治の会 副会長。
岩手県北上市出身、県立黒沢尻北高、国立岩手大学農学部農芸化学科(生化学研究室)卒業。日本モンサント株式会社(現在ファイザー製薬)でMR、マーケティングに従事。